

# ■■ 化学療法投与計画書《Eriblin療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp) エリブリン 1.4mg/m<sup>2</sup> day1,8 day9~21休薬

本管①	Day1
生理食塩液100mL	1 瓶

レジメンコメント1
レジメンコメント2

側管①	15分	【50mL】生理食塩液 50mL 1 瓶
		デカドロン注射液1.65m 4 管

側管②	10分	【50mL】生理食塩液 50mL 1 瓶
		エリブリンメシル酸 mg
		ハラヴェン静注1mg:

- <注意すべき副作用>
- 食欲不振、吐き気 ●倦怠感 ●口内炎
  - 白血球減少 ●赤血球減少(貧血)
  - 肝機能低下 ●手足のしびれ
  - 脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)

### <実施時の注意>

5%ブドウ糖注射液で希釈しないこと。  
0.01mg/mL未満の濃度に希釈しないこと。

### <用量規制因子>

投与開始前に好中球数1000/mm<sup>3</sup>以上、血小板数75000/mm<sup>3</sup>以上、非血液毒性Grade2以下でない場合、投与を延期する。  
各サイクル1週目では、上記まで回復した場合、投与を再開。  
各サイクル2週目では、投与延期後1週間以内に上記まで回復した場合減量して再開。  
(減量の目安: 1.4mg/m<sup>2</sup>→1.1mg/m<sup>2</sup> 1.1mg/m<sup>2</sup>→0.7mg/m<sup>2</sup> 0.7mg/m<sup>2</sup>→投与中止を考慮)  
投与延期後1週間以内に上記まで回復しない場合は休薬。